

2018年4月

第91号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート

TEL 018-883-1888

平昌（ピョンチャン）の夢と感動

平昌では2月に冬季オリンピックが、3月にパラリンピックが開催され熱い戦いが繰り広げられ数々のドラマが生まれ多くの感動を与えてくれた。

日本選手はオリンピックでは2014年のソチ大会メダル8個を超え金4・銀5・銅4、計13個と冬季大会では最高のメダルを獲得し、また、パラリンピックでもソチ大会のメダル6個を超え金3・銀4・銅3を獲得、大きな成果を上げて幕を閉じた。日本選手の健闘を讃えたい。

今回の大会は、女子選手の活躍が目立った、その中で特に印象に残った3競技・選手について振り返ってみたい。

1.女子カーリング

LS 北見チーム(チーム・ロコソラーレ)が銅メダルに輝いた。オリンピック日本選手出場最終競技でテレビに釘付けとなった。劇的な勝利を収め選手たちの喜びと感動をともに共有することができた。

チーム・ロコソラーレ(太陽の常呂っ子の意)は2010年にチーム結成。核となるスポンサーがなく北見市(人口12万人弱)の中小企業や一般市民が地域ぐるみで応援団となって育ててきた異色のチームだ。北見市の応援団の一人は「選手達はこれまでは北見市のアイドルだったが今は日本国中のアイドルになった」と複雑な心境を語っていた。3月21日北見市「市民特別栄誉賞」を受賞した。「本当によかったね」「そだねー」!!

2.女子団体パシュート

決勝の相手は「超人軍団」と言われているオランダチーム、個々の力や体格ではオランダが有利。しかし、日本チーム(高木美帆・高木菜那・佐藤綾乃・菊池彩花選手)はパシュートにかけた思いや練習量では自分たちが最高。さらに、先頭選手には車が時速50Kmの速度で走った時に窓から入り込む風圧と同程度の圧力を受けるが、巧みな選手の順番入れ替えと最も美しい隊列を維持しながら滑り込みを見せ見事に金メダルに輝いた。世界に誇るチームワークの勝利であった。

なお、高木美帆選手はその後に行われた世界選手権で日本人初の総合優勝に輝いた。

3.村岡桃佳選手(パラリンピック)

村岡選手は4歳の時に原因不明の横断性脊髄炎に罹患下半身麻痺となる。父とともに障がい者スポーツに挑戦。現在早稲田大学スポーツ科学部に在籍。健常者と一緒にトレーニングに励んでいる。今回の大会では日本選手団の旗手を務めた。競技では5種目(大回転・滑降・回転・スーパー大回転・スーパー複合)に出場、大回転で金メダルに輝いたほか銀2・銅2の計5個の全種目でメダルを獲得するという快挙を成し遂げた。村岡選手は初めてのメダルを「お父さんに掛けてあげたい」と言い、父を号泣させた。

国民を夢と感動の世界へと導いてくれた選手たちに感謝したい。

多くの選手たちは「己との戦いに克つ」ことを強調する。4月は新社会人・進学・進級と多くの若者たちが羽ばたく「自分との戦いが始まる」頑張れ若人。

喜び方がまだ足りない



ニーチェの言葉

もっと喜ぼう。ちょっといいことがあっただけでも、うんと喜ぼう。
喜ぶことは気持ちいいし、体の免疫力だって上がる。
恥ずかしがらず、我慢せず、遠慮せず、喜ぼう。笑おう。ニコニコしよう。
素直な気持ちになって、子供のように喜ぼう。
喜べば、くだらないことを忘れることができる。他人への嫌悪や憎しみも薄くなっていく。
周囲の人々も嬉しくなるほどに喜ぼう。
喜ぼう。この人生、もっと喜ぼう。喜び、嬉しがって生きよう。
【ツァラトウストラはかく語りき】



朝起きたら考えること

ニーチェの言葉

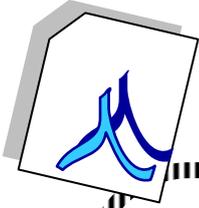
一日をよいスタートで始めたいと思うなら、目覚めたときに、この一日のあいだに少なくとも一人の人に、少なくとも一つの喜びを与えてあげられないだろうかと思案することだ。
その喜びは、ささやかなものでもかまわない。そうして、なんとかこの考えが実現するように努めて一日を送ることだ。
この習慣を多くの人が身につければ、自分だけが得をしたいという祈りよりも、ずっと早く世の中を変えていくことだろう。
【人間的な、あまりに人間的な】



軽やかな心を持つ

ニーチェの言葉

何か創造的な事柄にあたる時にはもちろん、いつもの仕事をする場合でも、軽やかな心を持っているとうまくいく。
それはのびのびと飛翔する心、つまらない制限などかえりみない自由な心だ。
生まれつきこの心を萎縮させずに保っているのが望ましい。そうすれば、さまざまなことが軽々とできる人になれるだろう。
しかし、そんな軽やかな心を持っていないと自覚しているなら、多くの知識に触れたり、多くの芸術に触れるようにしよう。すると、わたしたちの心は徐々に軽やかさを持つようになっていくからだ。
【人間的な、あまりに人間的な】



釈迦 (ゴータマ・シッタッタ)

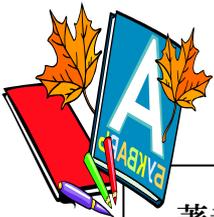
4月8日は釈迦誕生の儀式として「花祭り」「灌仏会(かんぶつえ)」が執り行われ、釈迦の仏像(赤ちゃんだけど立っている)に甘茶をかけて祝福する。

釈迦は紀元前5世紀ころ、現在のネパールのシャークャ族王の王子として誕生。王子として裕福な生活を送っていたが、人生について悩み、29歳で出家した。想像を絶する苦行の末、「真理を捉えるには中道が大切」と気づき、35歳で真理に目覚め「仏陀(ぶつだ)」となり、教えを広めるため伝道生活を送り、80歳で入滅したと言われている。

釈迦は絶えず次のことを説いていました。

- すべての人に「深い友愛の心」を限りなく持ちなさい(慈無量心)
 - すべての人と「ともに悲しみ苦しむ心」を限りなく持ちなさい(悲無量心)
 - 多くの人と「幸福を見て喜ぶ心」を限りなく持ちなさい(喜無量心)
 - 「あらゆる執着を捨て」多くの人々に施す心を限りなく持ちなさい(捨無量心)
- また、八つの正しい道「八正道」の実践をするように説いていました。
「正しく見」「正しく思い」「正しく話し」「正しく仕事をし」「正しく暮らし」「正しくつとめ」「正しく祈り」「正しき生涯を送る」こと。

おすすめの BOOK



『日本人だけが知らない世界の真実』

著者 池間 哲郎 出版社 育鵬社

著者は沖縄県生まれ、カメラマン。

アジア各国のスラム街や貧困地域などの撮影・調査・支援活動を続けている。アジア支援機構代表理事を務め活動を展開、文部科学大臣奨励賞、カンボジア王国外国人最高勲章などを受賞している。

本書は、支援活動で多くの国を訪れているが、アジアの多くの国やパラオ諸島の人々の多くが親日的であることに感動する。

日本は先の大戦で悪の限りを尽くした国民のように教えられてきたが、相対的にこれらの国々では日本に好意的だ。当時の日本兵はその地域に溶け込んでいた様子が見えてくる。

国際協力の基本は、祖国を愛すること。「祖国を愛せずして、他国を愛することはできない」が持論。

現地の人々と膝を交えて語り合う中で真実の姿が見えてきた。

自動車保険の「等級」って何？

世界一複雑といわれる日本の自動車保険の制度。その中でも特に分かりづらいのが「等級」制度です。

事故を起こさないドライバーほど保険料が安くなるこの仕組みは、近年の制度変更「事故有係数適用期間」の導入でさらに複雑になった印象があります。

初めて自動車保険に加入する場合、6等級から始まり、無事故（あるいは事故を起こしても保険を使わない）を1年間続けるごとに7等級、8等級とランクアップしていきます。等級が上がるごとに自動車保険料の割引率も上がり、最高ランクの20等級になると約63%の割引が受けられます。逆に事故を起こして保険金支払いを受けると等級は1回あたり3等級ダウンして、さらに3年間は「事故あり等級」という厳しい割引率（あるいは割増）が適用されます（事故の種類によっては、等級据置きや1等級ダウンがあります）最低ランクの1等級になってしまうと、損保会社から自動車保険の更新を断られるケースも出てきますので注意が必要です。

等級は契約している損保会社を変えても引き継がれますので、「今の損保会社との契約中に何度も事故を起こして1等級まで下がってしまったから他社で契約し直せば6等級から始められるのでは？」と安易に考えても必ずチェックが入ります。各社共通のデータベースで情報管理されているからです。

それでは、賢く安く等級制度を使うワザを3つご紹介します。

①同居の家族間で等級を引き継ぐ

例えば、父親の20等級を息子に引き継いで息子の自動車保険料を下げるということ。年齢が若いと保険料は高くなる傾向にありますので（事故率が高いため）20等級は息子に引き継ぎ、父親は新しく契約し直して6等級から始めます。

②セカンドカー割引（複数所有新規割引）

①のケースでは7等級から始めることができます。これは、1台目の保険契約が11等級以上であるため、2台目の車は6等級からではなく7等級から始めることができるというものです。年齢条件しだいでは保険料が20～30%も変わってきます。

③車に乗らない間は「中断」で等級を維持通常、無保険状態が13カ月続けば等級はリセットされ、20等級まで上がった人でもまた6等級から始めなければなりません。しかし、等級は「中断」の手続きをとればそれ以上の期間リセットされずに維持することが可能です。

種類	事由	中断できる期間
国内中断	契約車両を長期間手放すケース	10年
海外中断	長期間、海外へ行くケース	10年
妊娠中断	妊娠したケース	3年

条件を満たせば利用できる制度があり、割安な保険料での加入が可能です。利用できるかどうかチェックしてみましょう。



お花見スポット
仙北市桜木内川堤の
ソメイヨシノ
2 kmに及ぶ桜のトンネル

【編集後記】

森友学園を巡る決裁文書改ざん問題で国会が大きく揺れている。

総理または総理夫人がこの問題で不当な介入があったか、また、改ざんは本省からの指示によってなされたかと報道されており、誰が何を意図して指示を与えたかが焦点となっているが、この「森友問題」は昨年から延々と時間を費やしてきており国民目線では税金の無駄使いに映る。

早急に決着を図って本来の国会運営をしていただきたいものだ。
(平成30年3月23日記)